



2016年4月20日

各位

会 社 名 株式会社アパマンショップホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 大村 浩次
(J A S D A Q ・ コード8889)

Home IoTへの取り組みについて

当社グループにおける、Home IoTへの取り組みの一環として、持分法適用会社である株式会社システムソフト（本社：東京都中央区、代表取締役社長：吉尾 春樹）とさくらインターネット株式会社（本社：大阪市中央区 代表取締役社長：田中 邦裕）との合弁会社である株式会社 S2 i（2016年5月設立予定）が取り扱うスマートロックについて、業務提携及び管理物件への設置を順次行う予定としております。

本スマートロックは、Wi-Fi やスマートフォンを経由することなくインターネットに接続することができ、民泊・短期賃貸サービスや空室時の防犯対策等の活用を予定しております。

本合弁会社の詳細や本スマートロックの機能等について、株式会社システムソフト及びさくらインターネット株式会社の2016年4月20日付プレスリリースを別添いたします。

<別添資料>

株式会社システムソフト及びさくらインターネット株式会社の2016年4月20日付プレスリリース

報道関係各位

2016年4月20日

株式会社システムソフト
さくらインターネット株式会社

**システムソフトとさくらインターネット、Home IoTに特化した
サービス／プロダクトの企画・開発に取り組む合弁会社「株式会社 S2i」を設立
～第一弾のサービス／プロダクトとしてスマートロックを提供～**

株式会社アパマンショップホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大村 浩次）のグループ会社である株式会社システムソフト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉尾 春樹）と、インターネットデータセンター事業を運営するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：田中 邦裕）は業務提携と共同出資を行い、Home IoT^{※1}に特化したサービス／プロダクトをオープンイノベーションにより企画・開発に取り組む合弁会社「株式会社 S2i」を2016年5月に設立いたします。

「株式会社 S2i」は、自社開発に限定せず、オープンイノベーションの概念に則りハードウェア・スタートアップ各社との共同開発や海外プロダクトのローカライズなど、住宅の居住価値・不動産価値を向上させる取り組みを迅速に行ってまいります。

<合弁会社の詳細について>

会社名	株式会社 S2i (エス・ツー・アイ)
本社所在地	東京都千代田区紀尾井町4番1号
代表者	代表取締役社長 大澤 梢
資本金	2,000 万円
出資比率	株式会社システムソフト 52.5% さくらインターネット株式会社 47.5%
設立	2016年5月（予定）
事業内容	Home IoTに関連したサービス／プロダクトの企画・開発・提供

<設立背景について>

システムソフトは1979年の設立以来、ゲーム市場や携帯コンテンツなど多岐に渡りマーケット開拓を行ってきた、システム開発業界におけるパイオニアです。近年は、賃貸不動産業界におけるシステム開発で他社の追随を許さないノウハウを蓄積し、またIoT分野への研究を積極的に行っています。

さくらインターネットは、通信環境とデータの保存や処理システムを一体型で提供するIoTのプラットフォーム「さくらのIoT Platform」を2016年度中に提供予定です。今後、IoT関連市場における最も有力な分野のひとつであるHome IoT市場においてスタンダードプラットフォームとなることを目指しています。

このたび、両社のHome IoT市場における戦略が一致したことを受けて、新たに合弁会社「株式会社 S2i」を設立することとなりました。

<第一弾のサービス／プロダクトについて>

「株式会社 S2i」は、第一弾のサービス／プロダクトとして、2020 年には 3,000 億円市場と予測^{*2}されるホームセキュリティのキーデバイスとなる「さくらの IoT Platform」対応のスマートロックを取り扱います。アパマングループとの業務提携（予定）を通じて未入居物件に設置・稼働を目指します。

スマートロックには「さくらの IoT 通信モジュール」が実装され、自宅の Wi-Fi やスマートフォンを経由することなく、スマートロック自体が 3G/LTE 回線を通じて「さくらの IoT Platform」に接続できます。そのため、例えば賃貸物件の未入居時にも通信を行うことができ、空室時の防犯対策や仲介業務における貸鍵業務の軽減、民泊など短期賃貸への利用ができます。スマートロック機能の利用を希望される入居者様には鍵の開閉管理・防犯通知・貸鍵機能の提供を予定しております。また、室内で利用される IoT 機器から生じるセンシティブなデータを「さくらの IoT Platform」の閉域網にて保存・活用できるため、セキュリティの高いネットワークを提供可能です。

なお、スマートロックとの通信プロトコル及び API は、今後パートナーとなるスタートアップ企業やメーカーなどに提供し、Home IoT のサービス／プロダクトの積極的な普及の推進、また今後住居内でサービス展開されるさまざまな IoT 機器の通信 Gateway として活用を行ってまいります。

■株式会社システムソフトについて

会社名：株式会社システムソフト

本 社：東京都千代田区紀尾井町 4 番 1 号 ニューオータニガーデンコート 22F

代表者：吉尾 春樹

設 立：1979 年 9 月

URL：<http://www.systemsoft.co.jp/>

事業内容：システム開発、Web マーケティング支援

■さくらインターネット株式会社について

会社名：さくらインターネット株式会社

大阪本社：大阪市中央区南本町 1 丁目 8 番 14 号 堺筋本町ビル 9F

東京支社：東京都新宿区西新宿 7 丁目 20 番 1 号 住友不動産西新宿ビル 33F

代表者：田中 邦裕

設立：1999 年 8 月（サービス開始：1996 年 12 月）

URL：<https://www.sakura.ad.jp/>

事業内容：自社運営のデータセンターによるインターネットインフラサービスの提供

■株式会社アパマンショップホールディングスについて

会社名：株式会社アパマンショップホールディングス

本 社：東京都中央区京橋 1 丁目 1 番 5 号 セントラルビル

代表者：大村 浩次

設 立：1999 年 10 月

URL：<http://www.apamanshop-hd.co.jp/>

事業内容：賃貸斡旋事業、プロパティマネジメント事業、PI・ファンド事業、その他事業

■「さくらの IoT Platform」について

「さくらの IoT Platform」とは、通信環境とデータの保存や処理システムを一体型で提供する IoT のプラットフォームです。「さくらの IoT 通信モジュール」と、キャリアネットワークを L2 接続した閉域網を用意し、ストレージ、データベース、ルール

エンジンを含むバックエンド、外部のクラウドやアプリケーションサービスと連携できる API までを垂直統合型で提供します。将来的にはお客様がデータ販売を可能とするプラットフォームを構築していきます。正式サービスは 2016 年度中に提供予定です。

- ・プレスリリース

http://www.sakura.ad.jp/press/2016/0208_iot/

※1 システムソフトとさくらインターネットは、Home IoT を、住居を中心とした安全と安心・利便性・健康管理・エネルギー効率・エンターテインメント性の向上による新たな生活価値の提供を担う技術やサービス、プロダクトと定義しています。

※2 IDC Japan 「国内 IoT 市場 産業分野別/ユースケース別予測、2016 年～2020 年」(抜粋)

個人消費者について、2014 年の実績は 1,375 億円であり、その後 26.2% の CAGR で成長し、2020 年には 5,559 億円に達すると IDC ではみている。

「個人消費者」は、個人が自身の所有物として利用するハードウェア/ソフトウェアおよびそれに紐づくサービスが該当する。具体的にはスマート家電、ホームセキュリティ、スマート玩具、ウェアラブルデバイス、ペット用品、自家用車のテレマティクスなどが該当する。個人消費者における主要なユースケースとして IDC では以下の 3 つを想定している。

■ 「ホームセキュリティ監視」：ここでは宅内における、防犯や環境管理を目的として使われる IoT が該当する。具体的には窓やドアのロック、防犯カメラ、サーモスタットなどを活用した宅内での温度/湿度管理、電気/ガス/水/照明の遠隔制御などが挙げられる。

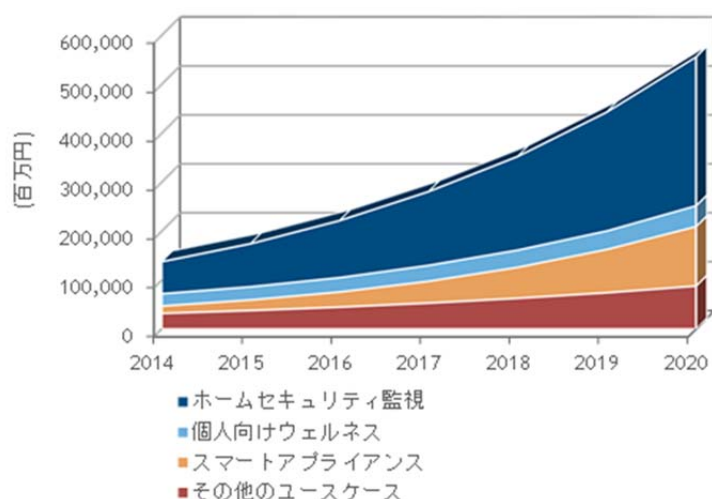
加えて「防犯」用途に特化したドローンやロボットなども含まれる。

■ 「個人向けウェルネス」：ここでは、個人向けのヘルスマonitoring (心拍数、睡眠モニタリング、体重) およびアクティビティ監視 (運動、距離を歩いて) のためのウェアラブル技術が含まれる。

■ 「スマートアプライアンス」：ここでは IoT 技術を活用することによって、宅内での機器間連携や遠隔制御を可能とする家電が該当する。具体的には洗濯機、冷蔵庫、オーブン、トイレ、バスタブなどが該当する。また宅内において汎用のコミュニケーション用途で使われるパーソナルロボットなどもここに含まれる。

【国内 IoT 市場 個人消費者におけるユースケース別 支出額予測、2014 年～2020 年】

Note: 2014 年は実績値、2015 年は見込み値、2016 年～2020 年は予測値を表している
(ホームセキュリティにおいては 2020 年には 3,000 億円と予測)



出典：IDC Japan, 2016年1月「国内IoT市場 産業分野別／ユースケース別予測、2016年～2020年」(JPJ40598516)

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

■この件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社システムソフト S2i 準備室

TEL : 03-3221-7120 E-mail : press@systemsoft.co.jp

さくらインターネット株式会社 広報宣伝室

TEL : 03-5332-7072 E-mail : press-ml@sakura.ad.jp